

事務事業評価調査書 (平成 25 年度)

No.	33		作成日	平成25年9月30日
総合計画	章	3	年度	平成 24 年度事業
	項	1	課等名及びグループ名	学校教育課 学校教育グループ
	節	2	記入者 職氏名	課長補佐 山崎 仙一

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

		実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
			☒	☐	☐	☐
事務事業名	学力向上推進事業					
事業概要	対象	小中学校の児童生徒及び教職員				
	目的	筑波大学と大子町との連携・協力に関する協定に基づき、町内各学校の教職員研修及び児童生徒の学力向上のための各事業を実施する。				
	実施内容	筑波大学教授、筑波大学附属学校教官、筑波大学学生、筑波大学附属学校生徒等を招聘し、「教職員に関する事業」「児童生徒に関する事業」「その他の事業」の3つの事業ごとに、研修や模擬授業、体験活動等を実施する。				

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名		一般会計	過疎計画	施策区分	その他地域の自立促進に関し必要な事項
	款	9	教育費			
	項	1	教育総務費		事業名 (施策名)	過疎地域自立促進特別事業
	目	1	教育委員会費			
	事業名		教育委員会費	根拠法令	筑波大学と大子町との連携・協力に関する協定	

【事務事業の実施状況】

III 事業費の推移及び終期

			事業期間	開始			終了		
				平成	21	年度	平成		年度
年 度			事業費 (決算・予算)	財源内訳 (単位: 千円)					
				国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
平成	21	年度実績	255					255	
平成	22	年度実績	1,685					1,685	
平成	23	年度実績	2,012					2,012	
平成	24	年度実績	2,917					2,917	
平成	25	年度当初	2,981					2,981	

特定財源の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
24 年度分						

IV 執行状況

執行状況	推進中	完了	新規
	☒	☐	☐

状況説明	筑波大学と大子町との連携・協力に関する協定に基づき、教育分野について平成21年度から事業を推進している。
------	--

V 問題点の概要

問題点	事業を推進する組織を構築し、担当者の異動等があっても、円滑に引き継ぎできるようにする必要がある。
-----	--

VI 成果指標

成果指標名	単位	24年度		25年度		26年度		27年度		対27年度 目標達成率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
推進事業参加者数	人	1,710	1,500	-	2,000	-	2,000	-	2,000	85.5%
指標に表われない効果	教育の成果は、数値や目に見える形ではなかなか見えない。									

【事務事業の評価】

◎一次評価(担当課においての評価)

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか？ ○対象・意図を見直す余地はあるか？ ○町が実施又は関与すべき目的であるか？	☒ 妥当である ☐ どちらともいえない ☐ 妥当でない	筑波大学との包括的な連携協定に基づき、教育分野での事業を推進している。
有効性	○成果向上の余地があるか？ ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか？ ○目標が達成されたか？	☒ 有効である ☐ どちらともいえない ☐ 有効でない	教職員の資質向上、児童生徒の学力向上として、有効な事業である。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か？ ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか？ ○他の事務事業との統合は可能か？	☒ 効率的である ☐ どちらともいえない ☐ 効率的でない	年度末に総括会議を開催し、事業の総括及び次年度へ向けての検討を行っている。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか？ ○負担者(納税者)の理解は得られているか？	☒ 公平である ☐ どちらともいえない ☐ 公平でない	多くの教職員、児童生徒が関われるように取り組んでいる。

Ⅱ 総合評価

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
※今後の方向性について、次の項目から選択してください。 <table border="0"> <tr> <td>1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td>5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
【総合評価】※理由, 具体策及び今後の課題等を記入してください。 教職員の研修及び児童生徒の学力向上のための施策を維持し, 発展させていくことが大切である。										
【担当所属長意見】 大子町の教職員, 児童生徒にとって, 学力向上のために役に立っている事業と考える。今後も継続して取り組んでいきたい事業と考える。										

◎二次評価(事務事業評価委員会による評価)

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
※今後の方向性について、次の項目から選択してください。 <table border="0"> <tr> <td>1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td>5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
【具体的内容】 事業の成果について, 町民に更なる周知を図ること。なお, 本町と関わりのある他の大学との連携事業についても検討すること。										
【備考】										